

新規着手

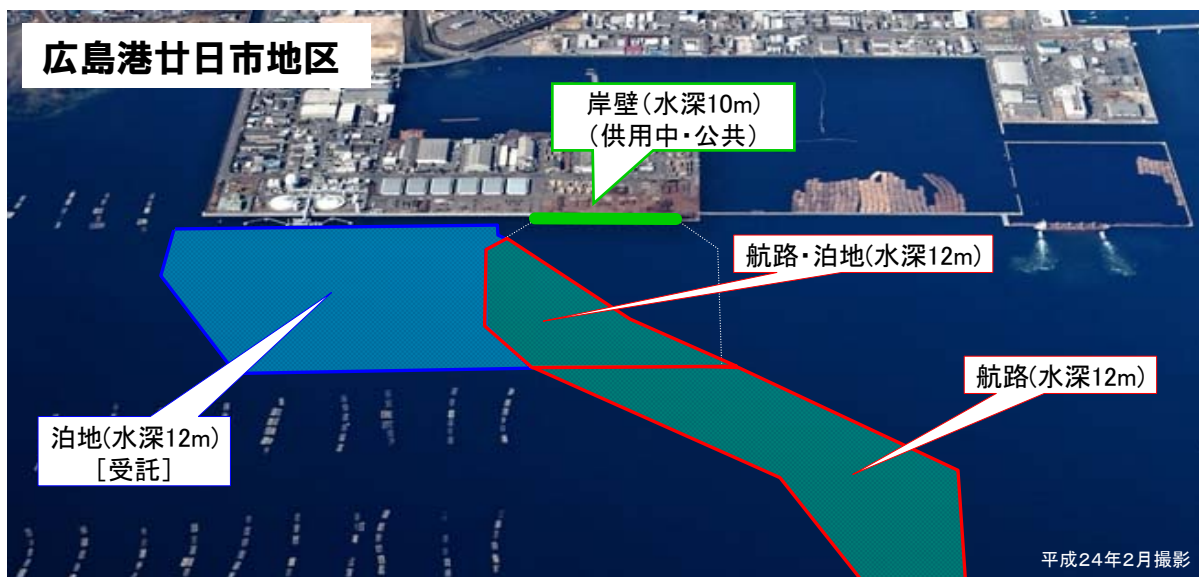
●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

広島港廿日市地区は、広島港における輸入貨物の約5割を占め、各種製造業のエネルギー源としての需要が拡大しているLNG(都市ガスの主原料となる液化天然ガス)の一大輸入拠点です。

しかしながら、広島港の施設は、水深の制約により世界標準の大型船が利用できないことから、輸送コストの増加を招いており、対策が急務となっております。

そのため、安定的かつ安価なエネルギー供給による各種製造業の競争力の確保を図るため、官民の連携により、水深12mの航路・泊地の整備に着手します。



期待される整備効果

本事業により、LNGの安定的かつ安価な供給が図られ、LNGを利用する各種製造業の国際競争力強化を通じ、日本の経済社会の発展、雇用の確保等に寄与します。

本事業を契機とした利用再編等を通じ、広島港の更なる高度利用に資することが期待されます。